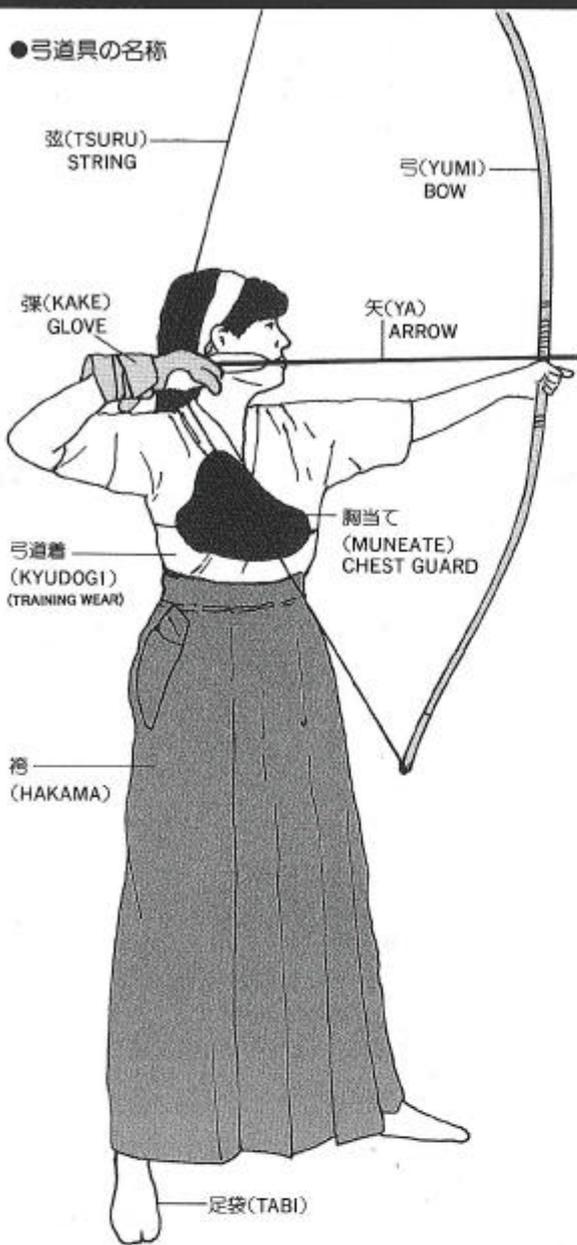
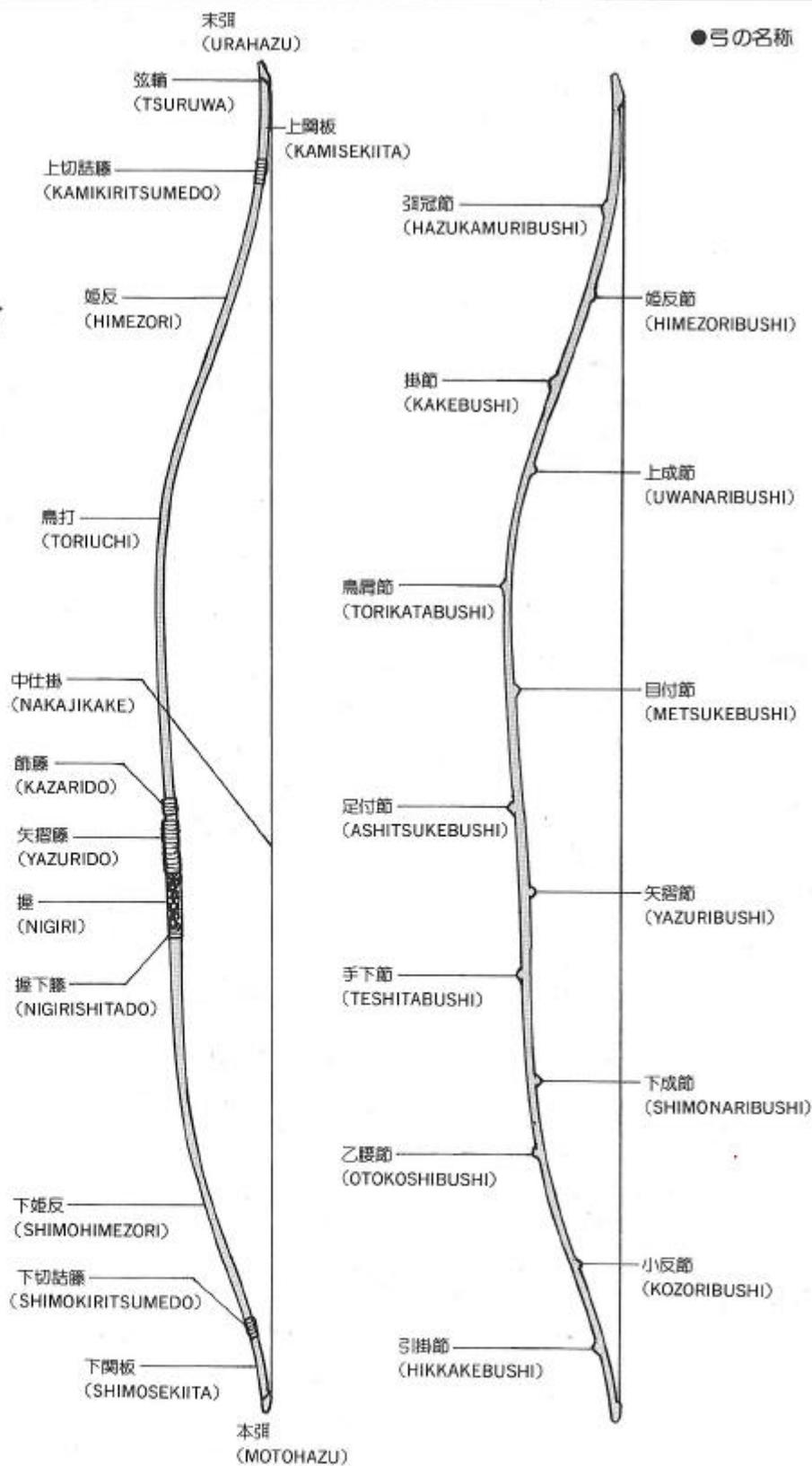


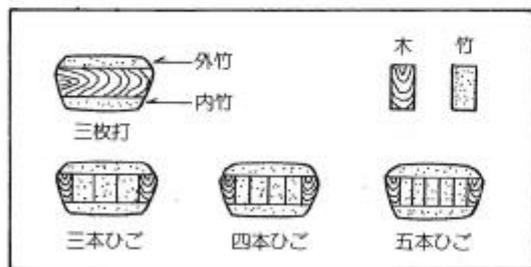
●弓道具の名称



●弓の名称



●弓の断面図



●弓の選び方

日本弓には竹製、グラスファイバー製、カーボン製のものがあります。竹弓には、にべ(鹿皮を煮詰めて作った接着剤)を使って作った弓と、合成接着剤で接着した弓があり、にべ弓は湿気や高温、乾き過に弱いので、保存にはなるべく自然に近い状態が良いでしょう。又、使用前に乾いた布で空拭きをすると良いでしょう。

竹弓の味わいは何物にも替えがたい良さがあります。グラス弓、カーボン弓は型がくずれにくく扱いやすい事と、耐久性が良いので、初心者や学生弓道等に多く用いられています。

弓の長さの基準は七尺三寸(2m21cm)で並寸といい、背が高く長い矢を使用する方は二寸伸、四寸伸、六寸伸、八寸伸という長い弓があ

ります。

竹弓は張っていないと裏返りといって反対側に反っていますが、裏反りが強いと弓を張って使用する時に弦がひっくり返ってしまう事があります。これをしますと首が折れてしまう事(上関板部分が反対側に折れる)がありますので、少し弦を高く16cm位に張って下さい。裏反りが少なく10cm~20cm位になってきましたら弦の高さを14.5cm~15cmの普通にもどして下さい。

竹弓はまず弦を張ったら、上下のバランスを調整し、又、出木、入木を調らべよく型を整えてから使用して下さい。出木、入木矯正器は木製の簡単なものがあります。